

調整色を強める米大手ハイテク株をどうみるか？

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① NASDAQ100が調整局面入りに

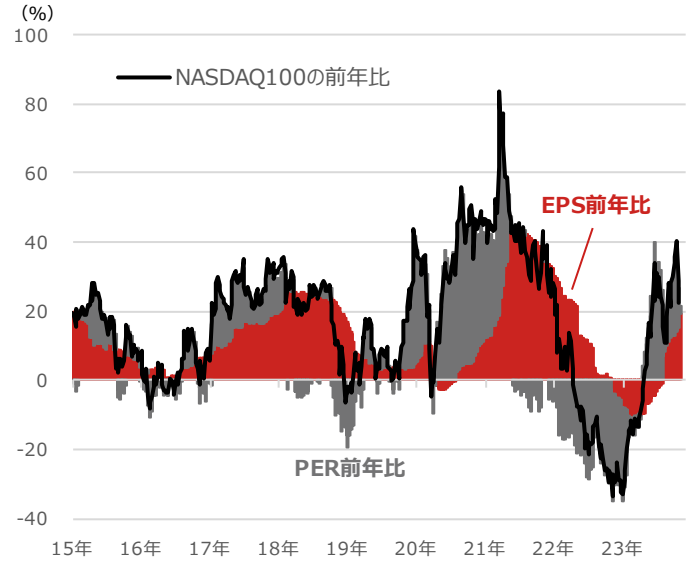
26日の米国市場でハイテク株主体のNASDAQ100が、7月につけた高値から10%超下落し、調整局面入りとなりました。業績改善期待の後退や、米長期金利の先高観による一段のバリュエーション調整への懸念がその背景と考えられます。

株価は計算上2つの要素で成り立っており、EPS（1株当たり利益）と株価の投資尺度であるPER（株価収益率）を掛け合わせることで計算できます。今年のNASDAQ100は米国のインフレ鈍化期待を背景にPERが前年比で一時40%近く上昇したことや、その後EPSも増加に転じたことなどが株高を後押ししたとみられます。ただ足元では、米長期金利の先高観が高まっていることから、直近のPERは同2.3%の上昇にまで縮小するなど、バリュエーション調整圧力が強まっています（右上図）。

ポイント② 投資妙味高まりつつある米ハイテク株

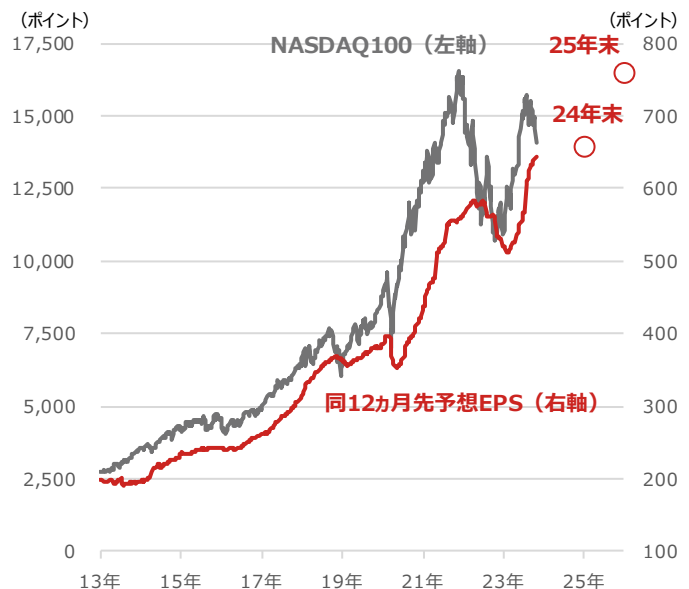
本格化している米主要企業の7-9月期決算発表では、大手ハイテク企業の決算内容や株価の反応はまちまちとなっており、投資家心理を好転させるまでには至っていません。もっとも、NASDAQ100の12ヵ月先予想EPSは拡大基調が続いており、現時点では25年末に向けて一段と伸びる見通しです（右下図）。最近の米ハイテク株売りを受けて検索大手米グーグルの親会社である米アルファベットや米メタ・プラットフォームズ（旧フェイスブック）の来期（24/12期）の予想PERは10倍台にまで低下しました（10/26時点のBloomberg予想）。米長期金利の先高観はくすぶりますが、今後の利益成長性とバリュエーション調整の進展を背景に、米ハイテク株への投資妙味は徐々に高まりつつあると考えられます。

NASDAQ100の前年比・12ヵ月先予想EPS・PERの前年比



期間：2015年1月2日～2023年10月26日、週次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

NASDAQ100と12ヵ月先予想EPS



期間：2013年1月4日～2023年10月26日、週次
●印は2024年末、2025年末のBloomberg予想（2023年10月26日時点）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一の見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。